

行ってきました。修学旅行、沖縄へ

沖縄の離島に民泊するのは、九州の中学校では氷川中だけです。

氷川中の沖縄修学旅行日程は4日間です。最後の1泊2日は沖縄中部にある「伊江島」で朝から活動し、その夜は一般の民家に泊まります。照れ屋の2年生たちは、底抜けに明るい島のおじやおばあに連れられて、山登りや磯遊び、沖縄料理、貝細工、魚釣り、農業などを体験します。「子どもたちだけで大丈夫かな?」と心配していると「先生、なんも心配せんでいいよ。なーに、なんくるないさー」とおばあが笑って言いました。



平和の礎での献花



ホテルでの楽しい夕食



歓迎は島人の沖縄民謡



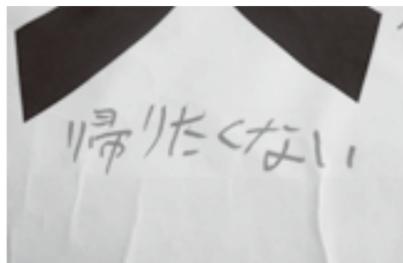
波止場での釣り体験

翌日の朝の別れは感動です。しわくちやの笑顔で精いっぱい手をふって見送ってくれるおじとおばあ。動き出したフェリーの上で腕がちぎれるくらいに手をふってそれに応える生徒たちは涙、涙です。

沖縄の戦争遺跡や観光地では、平和の尊さと歴史を学びます。そして、「伊江島」では宝を手に入れます。BIGINの歌詞にあるように、その宝は教科書にも書いていない、テレビでも伝えきれないものです。どんなに世の中が便利になっても、決してなくしてはいけない大切な宝をこの島で見つけてきます。それは「島人ぬ宝」です。



おばあとの別れは涙、涙



中学生から島人へのメッセージ



平成27年度 氷川中学校 教育目標

「氷川中生徒であるプライドをもって、さらに前進しようとする生徒の育成」
～郷土を誇りに思い、社会でもたくましく生きていく人材の育成～

生徒数

125人(1年38人 2年42人 3年45人)

部活動

美術、音楽、野球、サッカー、軟式テニス、卓球、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール



地域とともにある氷川中をめざす『氷川中学校運営協議会』

氷川中学校運営協議会は、観光物産協会長、氷川中OB、校区の民生委員、保護者、教育行政、地域教育コーディネーター、学校職員による16人の組織です。

「『氷川中のプライド』を持たせたい!!」「郷土を愛する心を育てたい!!」「学校も地域の活性化の一端を担いたい!!」「学校の課題を保護者や地域の人たちと一緒に解決したい!!」「地域の人たちに学校に来てほしい!!」という氷川中教職員の思いを受けて、地域が学校と一緒に何をやるかを協議して活動します。



学校運営協議会(6月1日)



学校運営協議員の授業参観

今年の活動内容

- 1 「学校支援地域本部(学校の授業や行事を手伝ってくださる方々)」と一緒に学校を応援します。
- 2 学校にトラブルが起きたら、学校職員と一緒に考えて、解決します。
- 3 氷川・龍峯でやっている町づくりに中学生が参加できる場面をつくります。
- 4 保護者も学校と一緒に家庭学習や携帯・スマホのルールづくりをします。
- 5 OBが中心になってプロジェクトを立ち上げて、三神宮祭りに中学生の出番をつくり、生徒が「氷川中生徒でよかった」と実感できるようにします。



昭和34年度卒業生の学校訪問



自主性を伸ばす生徒総会